



第2回縄文カップ

8つの自治体のゆるキャラと、特別出走としてJRAのターフィーが参戦、雨の中「芝・重」24mの競走となりました。昨年度覇者のまいりゅうがスタートで転倒してしまう中、力強い走りを見せたみほ一すは最後まで他を突き放し、見事優勝。表彰式で双口土器型トロフィーを手にしたみほ一すは「今年こそは勝つ!と、1年間調教してきたおかげでいち早くゴールに飛び込めた」と喜びを体全体で表現。昨年の雪辱を果たしました。



スタート!



まいりゅう転倒! みほ一すが飛び出す!



大外からみほ一す



とみちゃん、稲敷いなすけ、ターフィーが後を追う!



着順 みほ一す、とみちゃん、稲敷いなすけ



声援を受けながら、まいりゅう完走

「美浦村UMAフェスタ2026」では、馬に関するたくさんのイベントが用意されました。以下ではその一部を紹介します。その他にも、村内観光バスツアー、個展やワークショップ、働くクルマ展示、子ども緑日広場、警察音楽隊演奏等、会場を盛り上げる楽しいイベントが用意されました。

光と風の丘公園エリア

▼馬とのふれあい体験

お散歩・エサやり体験や、ホースショー等、馬とふれあえるイベントを用意。「美浦ぴったリタイムステークス」では、観客の声援の中、4頭の馬と騎手のペアが35秒ぴったりを目指してコースを走行。



「美浦ぴったリタイムステークス」
優勝のラファルと土田真翔騎手

▼騎手・調教師トークショー

国枝栄元調教師と蛭名正義調教師登壇の「馬のオシゴトトーク」や、横山武史騎手と小林美駒騎手の兄弟弟子トークショーが開かれ、思い出深い馬やレース等の貴重な話に、来場者から感嘆の声があがりました。また、6人のジョッキーが知識を競い合うクイズ大会「美浦村王」では、珍回答の連続に会場は沸きました。



「馬のオシゴトトーク」(左から)
蛭名正義調教師、国枝栄元調教師



「兄弟弟子トークショー」(左から)
横山武史騎手、小林美駒騎手



「美浦村王」(左から)
江田照男騎手、丸山元気騎手、杉原誠人騎手、
野中悠太郎騎手、鷹弘人騎手、木幡巧也騎手

▼競走馬・競馬関係ブース

引退競走馬や競馬等の馬グッズ販売、馬の仕事相談コーナーや会場内の調教師を見つける「調教師を探せ!!」等、馬に関する物販やイベントが多数用意されました。



みほふれ愛プラザエリア

▼Your HERO's DERBY

自分で色を塗った絵の馬がモニターの中でコースを競走。子どもたちの興奮した声援で賑わいました。



「Your HERO's DERBY」実況

▼勝利ジョッキーインタビュー体験

記者役となり、勝利ジョッキーインタビューを体験する競馬ブック主催のイベント。丸田恭介騎手、草野太郎騎手を実際にインタビューし、記事の作成に挑戦。



「勝利ジョッキーインタビュー体験」
草野太郎騎手

美浦トレセンエリア

▼馬のお仕事体験

厩務員、騎手、獣医師、装蹄師の各ブースで、美浦トレセンで働く人たちの仕事を、現役の関係者から指導を受けながら体験。馬の仕事に関する相談やアドバイスを受ける来場者も多く見られました。



「馬のお仕事体験」
獣医師ブース

▼トークショー、オークション

「戸崎」を囲む会、「競馬学校20期生同期会in美浦トレセン」、「推しへの愛を語る！トレセンガールズトーク」、「回収率のヒモを解け！ジョッキーたちの証言」の各トークショーでは、会場外まで人が溢れる大盛況。「お宝オークション」では、各厩舎から出品の貴重な品を手に入れるべく参加者の熱気で会場が包まれました。オークションの売上は、美浦村UMAフェスタに参加した馬の輸送料、飼料代、運営費等に活用されます。



「戸崎」を囲む会
戸崎圭太騎手



「競馬学校20期生同期会」(左から)
津村明秀騎手、丹内祐次騎手、上野翔騎手



「トレセンガールズトーク」(左から)
小林美駒騎手、谷原祐希騎手



「回収率のヒモを解け！」(左から)
丸田恭介騎手、嶋田純次騎手、
菊沢一樹騎手、石田拓郎騎手